

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 令和6年3月15日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(放課後等デイサービス) 家庭数 43 回収数 19 割合 44.2%

内容		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペース が十分に確保されているか	17 89.5%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	・部屋も広いたくさんあるし、庭もあるので素晴らしいと思います。 ・他の放デイは分かりませんが、スペースは中も外も広いと思います。	・適宜室内環境を見直し、一人ひとりにあったスペースが確保できるようにします。
	2 職員の配置数や専門性は 適切であるか	14 73.7%	3 15.8%	0 0.0%	2 10.5%	・男性職員はもう少し増やした方が良いと思います。 ・サポートの必要な子どもたちがほとんどなので、たまに大変そうだなと感じる時がありますが最近の職員の方を見ていると以前よりは落ち着いてきているのではないかと思います。	・職員配置について、職員同士が連携をとりながら一人ひとりの子どもたちとしっかり向き合えるよう工夫します。
	3 事業所の設備等は、スロー プや手すりの設置などバリア フリー化の配慮が適切に なされているか	17 89.5%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%		
適切な 支援の 提供	4 こどもと保護者のニーズや 課題が客観的に分析された 上で、児童発達支援計画 (放課後等デイサービス計 画)が作成されているか	18 94.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	・いつもこちらの意見をよく聞いて作成されています。	
	5 活動プログラムが固定化し ないよう工夫されているか	13 68.4%	3 15.8%	0 0.0%	3 15.8%	・クッキングや消防署に行ったりと色々工夫されていると思います。	
	6 放課後児童クラブや児童館 との交流や、障がいのない こどもと活動する機会があ るか	4 21.1%	3 15.8%	3 15.8%	9 47.4%	・なかなか難しいと思いますが、できればありがたいです。	・地域の一員として積極的に、また計画的に地域の子どもたちの交流活動に取り組みます。
保護者 への 説明等	7 運営規定、利用者負担等につ いて丁寧な説明がなされたか 支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明がなされたか	17 89.5%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%		
	8 日頃からこどもの状況を保護 者と伝え合い、こどもの 健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができてい るか	17 89.5%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	・送迎をお願いしているので、話す機会が少ないので…、しょうがないです。 ・いつも丁寧に教えてくださいます。	・なかなかお会いできない保護者の方とも、工夫しながら、こどものことについて話ができるようにします。
	9 定期的に、保護者に対して面談や、 育児に関する助言等の支援が行わ れているか 保護者に対して面談や、育児に関 する助言等の支援が行われている か	19 #####	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
	10 父母の会の活動の支援や、 保護者会等の開催等により 保護者同士の連携が支援 されているか	14 73.7%	3 15.8%	0 0.0%	2 10.5%	・コロナが5類に移行してから少しずつそういう機会が増えてきていると思います。	・保護者カフェを実施しました。今後は、より多くの方々が参加できる機会を、定期的に設けます。また、父母の会の再開もできましたので、より交流の場を広げていきます。
	11 こどもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されていると ともに、こどもや保護者に周知・説明され、相談 や申入れをした際に迅速かつ適切に対応 されているか	17 89.5%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	・いつも、早急に親身に対応下さります。頼りにしています。 ・面接時以外でも困りごとがあると話を聞いてくれますし、できるように練習もしてくれます。	
12 こどもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための 配慮がなされているか	15 78.9%	2 10.5%	0 0.0%	2 10.5%			
13 定期的に会報やホームページ等 で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評 価の結果をこどもや保護者に対し て発信されているか	19 #####	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			

	14	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17	0	0	2		
			89.5%	0.0%	0.0%	10.5%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。(また、発生を想定した訓練が実施されているか。)	10	3	1	5		・各種マニュアルについて、より保護者の方々にも周知できるよう、見えやすい場所に設置します。
			52.6%	15.8%	5.3%	26.3%		
非常時等の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1	0	2		
			84.2%	5.3%	0.0%	10.5%		
満足度	17	こどもは通所を楽しみにしているか	15	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅で好きな事をしたい年頃になった様です。</li> <li>・うちの子は自宅に引きこもるのが好きなので通所の気分に波がありますが、楽しく通所できるように色々と考えてくれています。</li> </ul>	・こどもたちの気持ちや育ちの変化に寄り添いながら、こどもたちにとって居心地のいい場所であり続けられるよう、今後も工夫しながら運営します。
			78.9%	15.8%	0.0%	5.3%		
満足度	18	事業所の支援に満足しているか	18	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に信頼して預かって頂ける場所があるので、助かっています。</li> <li>・施設外へ外出する機会があるとなおよいと思います。</li> <li>・大変な仕事だと思いますが、職員の方の対応も良くて信頼できる事業所だと思っています。家だけだと限られたことしかできませんが色々な経験や苦手なことの練習も手伝っていただいているので助かっています。親の精神的な負担も支えてもらっています。</li> </ul>	・いつも事業所の運営にご理解、ご協力ありがとうございます。保護者の方々に支えられています。こぶしの家が運営できています。これからも保護者の皆様と一緒にこどもたちを真ん中に、こどもたちの育ちを支えていきたいです。これからも、ご意見やアドバイスをいただけたらと思います。たくさんのご貴重なご意見、ありがとうございました。
			94.7%	5.3%	0.0%	0.0%		

「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

# 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月15日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(放課後等デイサービス)

項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用人数が部屋に対して多いと思うことがある。	基準を満たしているが、スペースの工夫を行う。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		基準は守られていると思うが、厳しいと感じることがある。	人員基準は満たしているが、引き続き職員体制の調整を行う。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		バリアフリーを意識して設計されている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		はい、受け入れ前など個々の目標を再確認する機会があった。	時間設定や会議の方法を見直し、全職員が参画できるようにする。
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケートを活かすようにしている。	
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者に対しては結果表を配布している。ホームページにも掲載している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価は実施していない。	今後、第三者評価等の導入を検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		オンライン研修や、施設外研修の機会を設けている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	○		より具体化して、達成しやすい目標設定を行う。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		よりこどもに合ったツールを探したい。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当だけでなくみんなで話をして立案、実施をしている。活動のねらいやこどもの姿を予想して対応を考えている。	立案には、必ず複数職員の意見を取り入れ、より内容が深まるよう工夫している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		パートの方は勤務上、立ち合うことが難しいが、共有はしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇でも個別の目標に合わせた活動の時間を設けた。	全体活動ばかりでなく、個別の時間や環境を細やかに設定する。
適切な支援の提供	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	○		集団活動にしんどさを抱えている子どもに関しては、支援計画に集団活動を掲げない場合があります。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		担当間では必ず行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	後口話し合うことが多い。勤務時間の関係で全員で振り返りをその日に行うことは難しいですが、気づいたことや疑問点など積極的に話しています。 <small>それができる時間を設けていないので必ず</small>	職員体制上、その日の全員での振り返りは難しいのが、必ず次の日に周知できるようにする。
	17 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	担当や利用者の実態により、ばらつきがある。	記録を取るだけにとどまらず、記録内容の見直し、支援の検証・改善を行う。
	18 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度は必ず行い、その他でも適宜見直しを行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		組み合わせている。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管や担当職員が参加できている。担当職員が参加できない場合も、児発管が普段の様子を聞き取った上で参加できている。	より多様な職員が参加し、連携が深まるように今後も調整をする。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		努めているのではないかと考えている。	

関係機関や保護者との連携	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか→対象児利用なし	-	-		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者を通じてモニタリングの結果を提出してもらい、情報提供している。また、もみじの家の利用の際に、様子を見ている。	保護者に同意を得た上で卒園・所前に、所属施設へ出向き情報共有を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		担当者会議や引継ぎ会議を開催し、保護者の同意を得た上で情報提供を行った。	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		市内の放デイの連絡会を開催した。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等(放課後児童クラブや児童館)との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		他事業所との交流は図ったが、その他とは機会がなかなか持ていない。	長期休みなどに積極的に交流する機会を作る。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会の各部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳で日々の様子を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者からの困りごとや相談には積極的にのっている。	ペアレントプログラムを使い、計画的に保護者支援を行う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、(支援の内容)利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明している。	
	31	(定期的、)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別で対応できない時は、児発管や所長と一緒に対応をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の再開と、保護者カフェを開催し、少人数だが交流できた。	今後も保護者同士の交流・連携の機会を作る。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		個別懇談や事業所内相談以外にも都度、電話や面談で相談を受けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に一回施設だよりの発行や、定期的にブログ更新をしている。	
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報は鍵の掛かる場所に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		カードを使ったり、視覚的にしたりと個々にあった分りやすい工夫をしている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		前年同様近隣の住民や企業に子どもたちが作った、年賀状を配って回った。夏祭りの再開もできた。	今後も地域へ出かけたり招待する機会を作る。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルは誰でも閲覧できる場に置いている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一回様々な場面を想定し、避難訓練を行なっている。	
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの診断書の基個別に対応している。	
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員会議やミーティングなどで確認している。	作成で満足せず、今後も検証をしっかりと行い事故防止に努める。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部の研修に参加したり、ケース会議を行なったりしている。	
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		常に上司へ報告や相談をしている。対象児がいない。	身体拘束規程を基に、職員に周知しケース会議等で協議している。